

## 平成 26 年度科学館特別展について

1 名 称 「震災復興・国立科学博物館コラボミュージアム in 仙台  
恐竜大研究 ―ティラノサウルス類の進化―」

2 ねらい

- (1) 多くの市民が関心を持つ「恐竜」をテーマに据え、古生物学への興味・関心を深めさせる。
- (2) 恐竜時代といわれる中生代の支配者として君臨した獣脚類の進化や恐竜の羽毛獲得の過程などの研究にスポットをあて、恐竜学の最新研究の情報を各種の標本とともに展示・紹介する。
- (3) 「るねっ・サイエンス」及び「震災復興・国立科学博物館コラボミュージアム」の一環として開催し、多くの方々が恐竜に関する展示見学等を通して、科学の楽しさを感じることで、震災復興への希望を持っていただくようにする。

3 主催・後援等

- (1) 主 催 仙台市教育委員会，国立科学博物館  
※主管 仙台市科学館
- (2) 協力（予定）東北大学総合学術博物館，群馬県立自然史博物館，  
ミュージアムパーク茨城県自然史博物館

4 開催期間

平成 26 年 7 月 19 日（土）～8 月 24 日（日）【開館：33 日間】

休館日：7 月 22 日（火），28 日（月），

8 月 4 日（月），18 日（月）

◎開展式について

期日：7 月 19 日（土） 9：00～

会場：エントランスホール

5 開催場所

仙台市科学館：2 階特別展示室，3 階エントランスホール

6 概 要

恐竜は中生代の時代に繁栄した生物である。謎の多い生き物であるが、化石など研究によりその生態や進化について様々なことが分かってきている。多様な恐竜たちが弱肉強食の自然界で生きていた姿は、興味が尽きないものであり、学ぶものも多い。このような「恐竜」をテーマに、恐竜の骨格標本、生態復元モデルを展示し、恐竜の進化や羽毛獲得などの研究成果を紹介し、恐竜の迫力とともに恐竜研究の面白さを伝え、古生物学に対する興味・関心を高められる場を提供する。特に今回の展示では、「恐竜」の中でも、興味・関心が高い「獣脚類」に焦点を当て、ティラノサウルス類の進化や羽毛を持っていたと考えられている亜成体の展示も行い古生物学に対する市民の関心を高めていきたい。

なお、国立科学博物館は、「ティラノサウルス」「トリケラトプス」の展示を行う。

## 7 展示内容

恐竜について以下のようなコーナーを設ける予定である。

### (1) 「羽毛を持つ恐竜」(エントランス展示)

羽毛をもつ獣脚類「ユティランヌス」「ディロン」などの復元生態モデルなどを展示し、恐竜の羽毛獲得や獣脚類(ティラノサウルス類)の進化など、特別展のテーマに関心を持ってもらうようにする。



ユティランヌス

### (2) 「三畳紀～羽毛恐竜の起源～」

恐竜が登場してくる中生代三畳紀について紹介する。前期三畳紀に生きていた恐竜の祖先に近いとされる「シャンシクス」, 「ラゴスクス」, 後期三畳紀のティラノサウルスの祖先である初期の獣脚類「エオラプトル」, 「ヘルレラサウルス」「コエロフィシス」の標本などを展示する。



コエロフィシス

### (3) 「ジュラ紀～恐竜の巨大化～」

恐竜巨大化の時代とされるジュラ紀について紹介する。後期ジュラ紀に大型化した獣脚類「グアンロン」「ケラトサウルス」の生態復元モデルや「カマラサウルス亜成体」の発掘地ジオラマを展示する。



ティラノサウルス成体

### (4) 「白亜紀～対決！ティラノサウルス～」

恐竜が最も栄え、絶滅した白亜紀について紹介する。「ティラノサウルス成体(愛称: バッキー 国立科学博物館所蔵)」および「ティラノサウルス亜成体(愛称: ジューン)」の骨格標本2体を中心に、草食恐竜「トリケラトプス」骨格標本なども交えて白亜紀の恐竜たちの対決シーンを再現させる。



ティラノサウルス亜成体

また、恐竜の体色研究関連標本, 脳研究関連標本, 恐竜最新系等進化, 恐竜の羽毛獲得, 獣脚類から鳥への進化等, 最新の恐竜研究に関する資料を展示する。

### (5) 「恐竜研究ラボ～恐竜研究者への道～」

恐竜の発掘道具, 恐竜足跡関連化石, 化石発掘地紹介パネルを展示する。また, 発掘体験コーナーを設置し, 恐竜研究に対する夢を育てるコーナーとする。

## 7 関連イベント

特別展への関心を高めるためにイベントを開催する予定である。

### (1) 講演会「最新恐竜学」

期日: 平成26年7月19日(土) 10:30～12:00

講師: 国立科学博物館 真鍋 真 氏

会場: 市民の理科室

### (2) 恐竜折り紙教室「折紙で恐竜を作ろう」

期日: ①平成26年7月27日(日) 10:30～12:00, 13:30～15:00

②平成26年8月9日(土) 10:30～12:00, 13:30～15:00

講師：福島邦幸 氏  
会場：市民の理科室

(3)化石鑑定会

期日：平成 26 年 8 月 10 日（日） 10:00～11:30, 13:30～15:00  
会場：2 階第三実験室

(4) 3D 恐竜ぬり絵をしてみよう！

期日：平成 26 年 8 月 17 日（日）  
① 10:00～10:30 ② 11:00～11:30 ③ 13:00～13:30  
④ 14:00～14:30 ⑤ 15:00～15:30

講師：国立科学博物館 スタッフ  
会場：市民の理科室

(5)化石レプリカを作ろう！

期日：平成 26 年 8 月 22 日（金）  
① 10:00～10:30 ② 11:00～11:30  
③ 13:00～13:30 ④ 14:00～14:30  
会場：市民の理科室

8 その他

- (1) 各コーナーにインストラクターを配置し、見学者への解説や説明を行い、展示内容をよく理解してもらえようとする。
- (2) 新聞等のマスメディアを通じた広報を積極的に行う。
- (3) ポスターやリーフレットを作成し、幼稚園・小・中学校、高等学校をはじめ市内および県内各所に配布・掲示する。
- (4) 売店で関連グッズなどを扱ってもらえるように要請する。

9 効果

恐竜の代表的な存在であるティラノサウルスや、羽毛恐竜についての研究の成果を紹介することにより、恐竜をはじめとする古生物に対する興味を深めさせ、関心を高めることができる。また、来館者の皆様が、過去に恐竜が繁栄した中生代の地球と現在の地球の環境を比較することにより、これからの地球環境について考えたり、古生物学が地球の過去と未来を考える上で大切な学問であることを理解できたりすると考えられる。